

「第2回業務監査委員会」の概要

「第2回業務監査委員会」の概要につきましては、以下のとおりであります。

今回の委員会では、当社から平成16年度第3四半期決算概要・グループのコンプライアンス態勢および人材育成についての説明を行い、その後、各委員の方々から忌憚のないご意見を頂戴いたしました。

1. 日時

平成17年2月25日（金） 13:30～16:30

2. 場所

北陸銀行本店

3. 出席者

<業務監査委員会メンバー>

石川 達 紘	(株)北海道銀行監査役、元名古屋高等検察庁検事長、弁護士、亜細亜大学教授
片 木 進	流通科学大学副学長、元日本銀行金沢支店長
佐々木 亮子	(有)アールズセミナー代表取締役社長、元北海道副知事
丹 羽 昇	富山大学理事副学長
本田 百合子	公認会計士・税理士・行政書士
河上 敏 嗣	(株)ほくほくフィナンシャルグループ常勤監査役

(五十音順、敬称略)

<当社出席者>

高 木 繁 雄	取締役社長
堰 八 義 博	取締役副社長（札幌：テレビ会議）
川 合 哲	取締役
新 田 潔	取締役（札幌：テレビ会議）
羽 岡 秀 晃	取締役
徳 野 光 宏	取締役
小 林 敏 彦	取締役
松 本 雅 登	マネージャー
庵 栄 伸	マネージャー
河 合 賢 児	マネージャー

4. 当社からの説明要旨

庵マネージャーより、以下の内容について説明をいたしました。

平成16年度第3四半期決算概要

ほくほくFGのコンプライアンス態勢

ほくほくFGの人材育成

5. 委員からのご提言・ご質問等について

平成 16 年度第 3 四半期決算概要

- ・ 中小企業貸出増強の仕掛けとして、「起業家同窓会」を組成し、起業家とベテラン経営者で囲むネットワークを作り上げることを検討してはどうか。
- ・ 17 年 3 月末の中小企業貸出の達成見込みはどうか。
- ・ 信用保証制度変更に伴い、スコアリング方式によるローンの開発や体制整備を考えていく必要がある。(リレーションシップバンキングとのバランスを考慮しながら)

コンプライアンス態勢について

- ・ コンプライアンス担当部署を独立させたらどうか。
- ・ コンプライアンス態勢は、スピード重視であるべき。お客様からのクレームに将来の問題が内在されており、それを吸い上げる態勢が出来ているのか。
- ・ 口座を使った犯罪が多発している現在、キャッシュカードの安全性向上に向けてコストをかけてでも努力すべきである。それは将来に向けた先行投資である。
- ・ 防犯対策をしても、その上を行く犯罪者はいる。こういう問題は、地方銀行協会などが総合的に考える必要がある。

人材育成について

- ・ 両行の共同研修は、もっと積極的に行っていくべきではないか。
- ・ 支店長等公募制度に加え、中途採用をもっと積極的に行ってはどうか。
- ・ 人材育成も自己責任の時代であり、自己啓発を研修の基本方針としていくべきではないか。
- ・ 現場体験研修を積極的に推進してはどうか。

なお、当社出席者からは、各委員からのご提言等を参考にしながら、コンプライアンス態勢および研修体制の整備を引き続き行っていく旨、回答いたしました。

以上